



みんな元気に「輝いて生きる」。それが私達の願いです。

Information ツイッターで採用情報や取組みを発信しています。

リアルタイムなホット情報や、オンライン職場説明会の情報もありますよ!!
ブログとともに、宜しくお願いいたします。

@ikuseikai_saiyo



vol.97
2020.1.1発行

発行:社会福祉法人 名張育成会 広報委員会 〒518-0615 名張市美旗中村2326
TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子 編集責任者:宮田義則 編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ)
編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字:千秋育子

地域を超え、障害児の支援体制強化に取り組む 「こどもライフサポートセンターはーと」が行う三重県委託事業



三重県が各市町村への支援事業として行っている、『地域の障がい児等支援体制機能強化事業』。今年度、「こどもライフサポートセンターはーと」が県からの委託を受け、伊賀市・名張市・鈴鹿市・亀山市の担当エリアでその事業に取り組んでいます。

街の宝である子どもを守る。中でも、発達支援は子どもの未来に重要とあって、三重県では地域での支援体制を強化するため、各市町村を後押ししています。「こどもライフサポートセンターはーと」は長年にわたって子どもの発達に寄り添い、専門的な知見と機能を持ち合わせた入所事業所として、地域で重要な役割を担っています。

そこで今年度、子どもの明るい未来のために県からの委託を受け、地域を超えて障害児の支援体制機能強化に取り組んでいます。



取り組み内容は多岐にわたり、「施設内の専門的な支援体制の整備」「地域での支援者育成」、また「各自治体が抱える課題の解消」など様々ですが、「こどもライフサポートセンターはーと」が基本的なこととして説いているのが『アセスメント』の重要性です。

介護福祉分野での『アセスメント』とは、将来にわたって「その人らしい」暮らしが過ごせるよう、その人のことを正しく知る評価のこと。生活の環境や特徴、能力などを確認した上で、今後どのように手をさしのべれば良いのかを示す羅針盤となります。



『アセスメント』は、福祉事業所と利用者を繋ぐパイプだけでなく、子どもの頃からしっかりとヒアリングされたアセスメントは、その方の人生にとってとても重要です。12月には鈴鹿市で「ここだけは押さえておきたい!子どものアセスメント」として、アセスメントの役割・理解についての研修会を行いました。



アンケートの一部を紹介します。

- ① アセスメントの情報を更新していく必要性はわかっていたのに、今日のお話でハッとしました。保護者とよく話はしているが、きちんと記録していなかったことを今すぐ反省しています。早速事業所に帰って改善します。
- ② アセスメントを漠然ととらえていたがとても大事だとわかりました。
- ③ 子ども、保護者の「歴史」を大切にあげること。事業所に帰ってすぐに実践したいです。



地域を超えた取り組みが、県の福祉充実に役立っています

鈴鹿市・亀山市の放課後サービス、児童発達支援事業所の支援員や相談支援員、支援学校の先生、また市教育委員会など関係者約60名が市役所の大会議室に集まり、熱心に耳を傾けていました。

多くのアンケートからは、感動と熱意が感じられました。参加された皆さんにとって、とても盛り多い研修会になったようです。この取り組みのように、日々子どもや保護者に接する支援員にも寄り添うことは、とても大切な「支援」であると感じました。

取材:田口知恵子(コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。)